

2016年(平成28年)
6月20日
月曜日



天気	6	9	12	15	18	21(時)
東京	☀	☀	☀	☀	☀	30
横浜	☀	☀	☀	☀	☀	30
千葉	☀	☀	☀	☀	☀	30
さいたま	☀	☀	☀	☀	☀	40
札幌	☀	☀	☀	☀	☀	80
仙台	☀	☀	☀	☀	☀	60
名古屋	☀	☀	☀	☀	☀	0
大阪	☀	☀	☀	☀	☀	20
福岡	☀	☀	☀	☀	☀	70

朝日新聞東京本社 本日の編集長一沢村互
〒104-8011東京都中央区築地5-3-2 電話03-3545-0131 www.asahi.com

フォーラム われら中小企業



後藤 稔行さん(88) 十間通シーソーラー社社長

夢応援して会社も強く

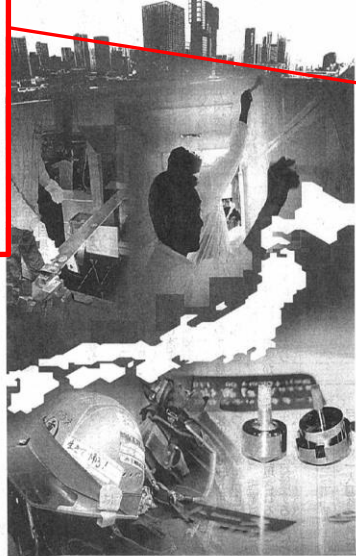
Yes 社内では、社員が自分の夢を託したニックネームを自分でつけて、呼び合っています。社員それぞれの夢を、会社全体で応援するためです。「居酒屋を将来経営する」「何でもこなせる執事のような人間になる」——そんな夢を応援します。

ニックネームが「ソラ」の女性社員は、「あの空のような大きな人間になりたい」と命名しました。みんなに「ソラ」と呼ばれると、どんなに忙しくても夢を思いだす。夢の実現に大切なのは、忘れないことです。

起業する前に働いていた会社では、経営者や株主の夢のために社員は我慢して働き、その労働対価として給料をもらう。そう感じたので、うんざりしていました。自分が転職

働くしあわせを感じるモノサシは、賃金の水準や休みの取り方など、人それぞれ。経営トップは、そんな従業員の仕事に対する満足度、自信を持っているのでしょうか。いつもの経営者50人に、どう感じているかを聞きました。

社員は満足してる?



ご協力いただいた50社(順不同)【北海道】東部建設、岩見沢強化ガス【東北】富田自動車学校、八木グループ、オクト、蔵本テール、シムラート、八雲水産、東亜、ヴァ・クルー、キクチ【関東】中里スプリング製作所、日本プラスター、日本電機工業、永瀬南十郎工場、プレジール、日本鋼業工業、コピーアンドアソシエイツ、吉村、石坂産業、アイシービー、喜久屋、セリエコーポレーション、アトム精密、エイアンドピープル、ミノロ、アプロティーチ【中部】ニギハ、友ビルドテック、ニューババント、ソウパワ【近畿】【中国】豊村、ネコリブリック、ネタガ【四国】【近畿】【近畿】山田洋行、中野ビル、新日本テック、達和建設工業、カワキタ、梅南製菓、三協製作所、野田建設、日本九州パックス【中国、九州】エイ、ヒューマンライフ、お掃除つくるやさしい未来、プレスホーム、ツシマ



とびせりエコーポレーション社長 岡本 昌宏さん(41)

酷なのか 続かぬ若者

No 若(とび)の未来は明るいんです。新しいビルは建たなくても、改修の仕事は永遠にありますから、一生食べていける仕事です。10代、20代の若い職人が減ってライバルは少ない。10年後、20年後は、引く手あまたに決まっています。

でも、建設現場ではたらく仕事は、肉体的にはやり疲れるものです。夏は暑いし、冬は寒い。高職をハローワークで募集していますが、来てくれる人はいません。

私は19歳でこの業界に入り、30歳で独立しました。いま、少年齢などをまわって、「酷で稼ごうよ」と呼びかけています。「君たちも独立して社長になれるよ」と思っています。足を踏み外してしまっただけで若者には、再び罪を犯さなくてはいけません。

なかには、無銭無欠費で、「将来は社長みたいに独立して、少年院から釈放される」と語る笑顔の子がいます。彼には身よがないのですが、頼もしいかぎり。数年すれば独立する子も2~3人います。でも、いったん会社に入っても、続かない子が多い。若い子に、いきなり高の仕事をさせるのはやはり酷なのでしょうか。なので、社員の満足度は足りていないと感じています。

でも、やめた行き場がなくなる子どもたちがいる。夏にたちあがるNPOでは、ほかの仕事をつくらせてもらおうと思っています。若者層の経営者のみならず、協力していただいています。

「コミュニケーション」の効果に限界を感じる。飲み会があっても出てこない社員がいるなど、他人との協働に欠ける社員が増えています。社員の満足度を高めるにはコストがかかります。でも、取引先の満足度は、品質、納期、低いコスト、高い。 (40代・製造業)

仕事は「上」から指示されるより、「自分」で考えて実行した方が、楽しいもの。問題は、いかにして「自分」で動く社員を増やしていくかだと思う。言うは易(やす)く、行は難し。まだまだ道半ば、いや、道まだスタート地点だ。 (40代・サービス業)

個人として会社に満足している社員はいらぬと思うが、まだまだ、社員満足度は、社内で幅広く改善しないと高まらない。プロジェクトを立ち上げ、改善を図っている。満足度を上げれば、生産性も向上するし、取引先も満足するだろうから。 (50代・製造業)

ホテルは年中無休、24時間営業の業種。待機児童問題も深刻で、女性が働きに出にくく、人材確保に苦戦している。労働環境が悪くなっているのに、思うように改善できていない。社員の不満が募っている。なんとかしなくては。 (50代・サービス業)

賃金は地域の平均以上をめざすとともに、労働組合とさまざまな改善に向けて提案しあっている。でも、すべての従業員が満足しているかといえば、違うと思う。東日本大震災からの復興をめざす地域のためにも、いい労働関係を築きたい。 (50代・サービス業)

夢応援して会社も強く

Yes 社内では、社員が自分の夢を託したニックネームを自分でつけて、呼び合っています。社員それぞれの夢を、会社全体で応援するためです。「居酒屋を将来経営する」「何でもこなせる執事のような人間になる」——そんな夢を応援します。

ニックネームが「ソラ」の女性社員は、「あの空のような大きな人間になりたい」と命名しました。みんなに「ソラ」と呼ばれると、どんなに忙しくても夢を思いだす。夢の実現に大切なのは、忘れないことです。

起業する前に働いていた会社では、経営者や株主の夢のために社員は我慢して働き、その労働対価として給料をもらう。そう感じたので、うんざりしていました。自分が転職

するときのある面接で「社員の夢は？」と聞いたら、「甘ったれるな」と言われたこともあります。わたしは間違っていないことを証明したくて、10年前、社員の夢にこだわった会社を起業しました。社名は、本当の「自分」を手に入れようとの思いをこめてつけたものです。

夢を実現する可能性は、実力をたくわえればたくわえるほど高くなる。会社を強くして事業を拡大すれば、仕事が増える。社員には、自分の所属部署の仕事だけでなく、「社会人式インターン」としていろいろな仕事をしてもらおう。経験を積み重ねるほど実力がつく。事業拡大という会社の夢と、社員の夢は、しっかり交わるんです。

2016年6月20日付
朝日新聞「われら中小企業」
「従業員の満足度に自信がありますか？」というテーマのアンケートに対して、当社の代表である後藤がYesの回答の1人として取材を受けました。

◆編集委員の中島薫が担当しました。次回(第15回)の「われら中小企業」は、8月22日に掲載の予定です。